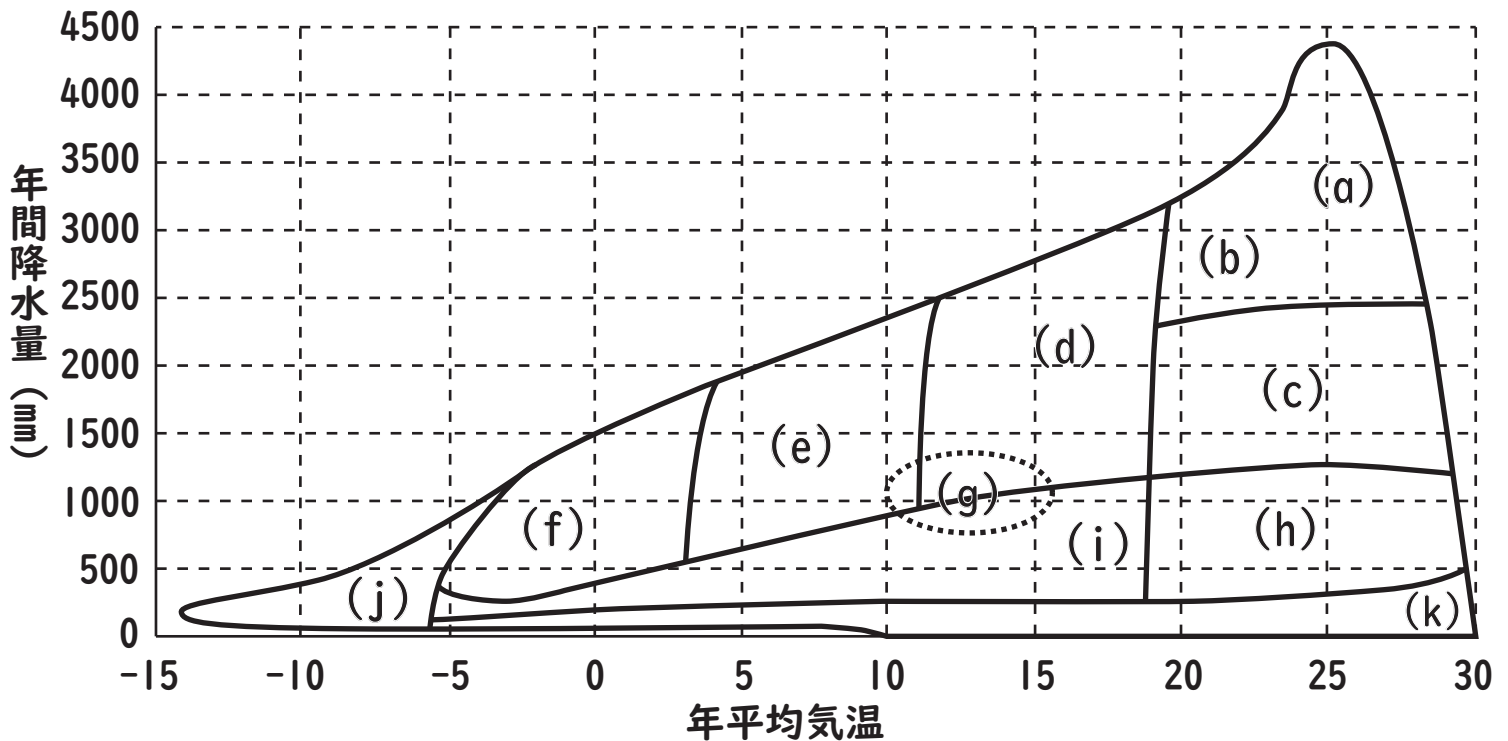


バイオームの表とそれぞれの分類の特徴 (PDF)



a	1年中雨量の最も多い地域。主に常緑広葉樹が生え、つる植物や着生植物も多い。
b	高温多湿で分解者のはたらきが活発なので、有機物はすぐに分解され、土壌は薄い。
c	雨季と乾季のある地域。乾季に落葉するチークなどが生えている。
d	季候は暖温帯で、常緑広葉樹がおもに生えている。日本ではクチクラの発達した葉を持つ。カシ・シイ・タブなどが代表的な樹である。
e	夏に雨量の多い冷温帯で見られる。落葉広葉樹のブナ・ナラ・カエデが生える。
f	亜寒帯に広く分布し、日本ではトドマツ・エゾマツなどが生えている。
g	夏に雨が少なく冬に雨は多い地域。クチクラが厚く硬くて小さい葉。オリーブ。
h	熱帯・亜熱帯で降水量が少ない地域。イネ科植物の草本に高木・低木も混ざる。
i	温帯で降水量が少ない地域。イネ科植物が中心。中央アジアなどに分布。
j	北極圏などの寒帯に分布。地衣類・コケ植物がおも。
k	熱帯や温帯の降水量が極端に少ない地域に分布。サボテンなどが生える。

【解答】

(a) 熱帯多雨林、(b) 亜熱帯多雨林、(c) 雨緑樹林、(d) 照葉樹林、(e) 夏緑樹林、
 (f) 針葉樹林、(g) 硬葉樹林、(h) サバンナ、(i) ステップ、(j) ツンドラ、(k) 砂漠